



# プレスリリース

## 速報版

### GENIVI、ルノー・日産社の共同プログラムにより、チーム力を拡充

*アライアンス、未来の車載用「オープンソース開発」のインフォテインメントシステムの基準を継続的に策定*

米カリフォルニア州サンラモン、- 2015年3月10日- 特定のオープンソース車載用インフォテインメント(IVI: In-vehicle Infotainment)ソフトウェアの幅広い採用を推進する非営利自動車業界団体の GENIVI(R)アライアンスは本日、共通の IVI システムを実現するために、会員であるルノー・日産社がアライアンス会員内で開発されたソフトウェアを基本とする新規共同プログラムを立ち上げると発表しました。

この新たな自動車用ソフトウェア プログラムは、ルノー・日産車の大衆車から高級車まですべてのクラスを世界的に対象としており、Robert Bosch GmbH が供給元となります。

ルノー・日産アライアンスの EE & Systems Engineering 部門の Alexandre Corjon グローバル統括部長は、「ルノー・日産チームは GENIVI が車載用インフォテインメント システムに導入される自動車用オペレーティング システムの新たな基準となると考えています」と言います。「GENIVI ソリューションにより、品質レベルが上がり、大半のソフトウェア モジュールを再利用することから、システムに関連する費用を抑えられます」。

—続く—



新しい共通のIVIシステムでは、GENIVI Compliant™ のミドルウェアを使用することから、ルノー・日産社は実質的に同じソフトウェアプラットフォームを異なるハードウェアソリューションで使用することが可能になり、大衆車から高級車までの領域を対象とすることになります。これは、IVIソフトウェアと標準インターフェースの導入を目的とするアライアンス内のチーム力が向上したことも意味します。

Robert Bosch Car Multimedia GmbH の上級副社長 Thomas Kropf 氏は、「GENIVI ソフトウェアによって高品質で柔軟性が高く、手頃な価格のソリューションを世界中の数多くの顧客に提供することが可能になりました」と言います。「GENIVI のオープンソース開発のアプローチにより、IVI 製品の構築においてさらなる選択肢を必要としていた弊社の顧客のニーズに応えることができました」。

ルノー・日産社チームは、このプログラムで生まれるミドルウェアの主要コンポーネントについても、今後のプログラムにおいて他のティア1サプライヤーに再利用のサービスを提供する予定です。

-###-

### **GENIVI アライアンスについて**

GENIVI アライアンスは、オープンソース開発ソフトウェアの広範な採用を促進することに力を注ぐ非営利業界団体である。GENIVI コミュニティは、世界的にブランド化されたIVIソリューションを提供するグローバルな自動車産業によって使われる参照アーキテクチャー、ソフトウェアコンポーネント、標準インターフェースを提供する。GENIVI は160社以上の会員企業で構成されており、本部はカリフォルニア州サンラモンにある。GENIVIに関する詳細は、[www.genivi.org](http://www.genivi.org) を参照して下さい。

報道関係者お問い合わせ先:  
Craig Miner (クレイグ・マイナー)  
248.840.8368  
[cminer@gelia.com](mailto:cminer@gelia.com)